


人に、まちに、ヤギに、みんなうれしいヤギ除草による地域活性化	取組開始時期	2020年6月	取組の カテゴリ	地域活性化
--------------------------------	---------------	---------	---------------------------	-------

1. 団体名	株式会社テクノ中部	2. 連携先の団体	東浦町、家畜除草研究会、名城大学農学部フィールドサイエンス研究室(畜産分野)
---------------	-----------	------------------	--

3. 取組目的	ヤギ除草による化石燃料の使用削減と野生動物への配慮を行いつつ、東浦自然環境学習の森の認知度と魅力アップ、地元活動団体も巻き込んだ地域活性化・地域PR	4. 関連するゴール	
----------------	--	-------------------	---

5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

◆ 取組の詳細
株式会社テクノ中部では、東浦自然環境学習の森の魅力アップと利用者の促進を目指す愛知県東浦町と連携し、ヤギ除草の効果測定を目的としたヤギ2頭によるヤギ除草を2020年6月から11月までの期間実施しました。
また、ヤギ除草実施期間中に、ヤギの健康状態の測定では名城大学農学部と連携し、東浦自然環境学習の森を活動拠点とする水辺部会、東浦竹灯籠の会、町民の方々の協力も得て、ヤギの健康状態や給水設備、柵等の点検等を実施しました。
また、ヤギ除草体験イベントや東浦町が実施する親子ふれあいイベントと連携し、広く一般の方にもヤギ除草の意義、東浦自然環境学習の森の認知・魅力の発信を行いました。

◆ 成果
ヤギ除草を実施した約500m²の区域は、ヤギ2頭の除草でひざ丈程度の草高に除草できました。
名城大学農学部にて調べて頂いたヤギの栄養状態も除草期間を通じて良好でした。
また、東浦町のウェブサイトや広報誌での紹介の他、新聞、CATVに自然環境学習の森でのヤギ除草について取り上げて頂きました。その効果もあって、東浦町以外に遠方からもヤギを見学に来た方もおり、一定のPR効果が確認できました。

ヤギの日常管理は、当社及び家畜除草研究会で行っていましたが、自然環境学習の森を拠点に活動している水辺部会や東浦竹灯籠の会の協力を得て、ヤギや給水設備の状況写真をSNS上で情報共有し、管理を最適化しました。
この他、一般の方へのヤギ除草への理解促進のためのイベントや東浦町主催のイベントにも参画しました。
家族連れの方にも多数来訪頂き、最初は、はじめて近くで見るヤギを怖がる子供もいましたが、除草するヤギをロープでリードしているうちにヤギに触れることができるようになった子供もおり、普段は触れることのないヤギを身近に体験する場を提供できました。



取組のポイント（3つの視点）

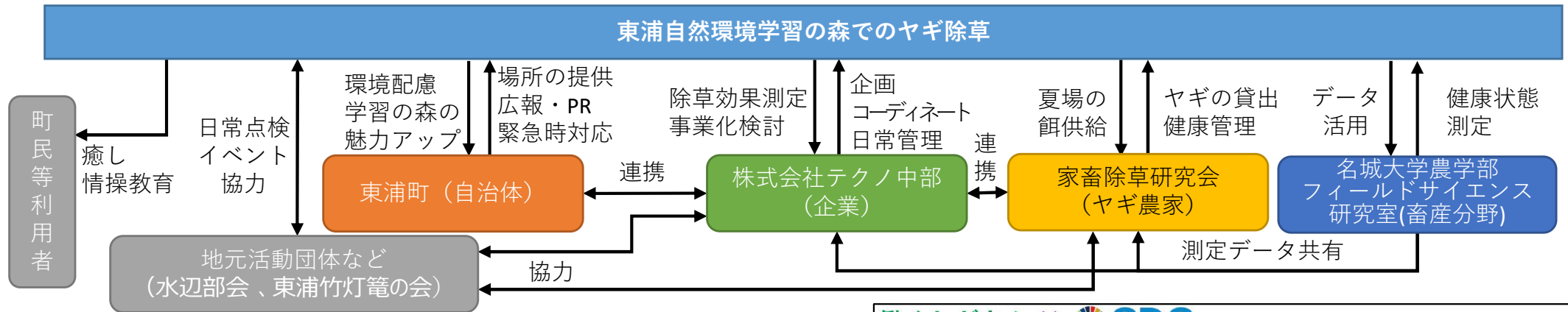
地方創生SDGsの視点
持続可能なまちづくり、地域活性化として、ヤギ除草による環境配慮と東浦自然環境学習の森の魅力アップによる町民サービス向上の両立を実現している。また、ヤギの存在が地元の活動団体等に関心を持って頂けたことで、双方の活動等に参加・協力することで、地域活動の活性化にも貢献している。

ステークホルダーとの連携
主な連携先・連携内容として、東浦町とは除草場所の提供、広報PR活動について、名城大学農学部とはヤギの健康状態測定について、家畜除草研究会とは除草ヤギの提供及び健康管理について連携しました。また、ヤギや給水設備、柵等の状況確認について地元活動団体の協力を得ました。

モデル性・波及性
ヤギ除草の事例は多数あるが、企業と自治体の連携により、自治体施設の魅力アップと草刈機に比べCO2排出、騒音、野生動物への影響等の低減を両立させたモデルである。また、ヤギの魅力によって地元活動団体の方々のヤギの日常管理への協力を得ることができた。

自由記述欄

◆ ステークホルダーとの連携体制図



◆ 2030年までに目指すべきゴールイメージやありたい姿

- ・東浦自然環境学習の森での持続可能な形でのヤギ除草の継続実施
- ・傾斜地等へのヤギ除草適用による労働災害リスクの軽減
- ・PR効果を活用するとともに、ヤギ除草に賛同する個人、団体、企業等のサポーターを募集するとともに、サポーターとの協働によるヤギ除草の運営スキームの構築
- ・家畜としてのヤギの普及、ヤギ農家の事業収支の改善

◆ 連携先の団体からのコメント

- ・ヤギ除草により環境に配慮した森の管理が実践でき、相乗効果としてやぎと人とのふれあいにより愛着が芽生え森に対する楽しみや訪問者が増えるなど東浦自然環境学習の森をPRすることができました。（東浦町環境課）
- ・ヤギ除草を通して、一般の方に家畜にも関心を寄せていただける良い取組を創出いただきました。今後の家畜のあり方を考える一助になることを期待しています。（名城大学農学部）
- ・ヤギの採食行動がSDGs達成に寄与する事例を多くの方に見ていただくことができました。単独で取り組むことは難しかったであろうと思います。（家畜除草研究会）

◆ 取組に関連するホームページのURL 等

東浦町ウェブサイト（町長メッセージ 6月21日 自然環境学習の森でヤギが働いています）

<https://www.town.aichi-higashiura.lg.jp/soshiki/hishojinji/hishokyuyo/gyomu/chocho/old/2020/10201.html>

東浦町ウェブサイト（6月の自然環境学習の森日記 15日(月曜日)）

<https://www.town.aichi-higashiura.lg.jp/soshiki/kankyo/kankyohozen/gyomu/mori/morinikki/2020nen/10352.html>

東浦竹灯籠の会ウェブサイト（今週の里山2020.10）

<https://higashiura-taketourou.jimdofree.com/今週の里山-1/今週の里山2020-10/>



ヤギ除草エリアの柵に設置したヤギ除草とSDGsの関係